

令和7年度長久手市行政評価票（A票：事業評価票）					対象年度		令和6年度		
事業番号	3	事業名	生活支援体制整備事業		担当課		長寿課		
					予算区分（款-項-目-中事業）		3-1-2-1 生活支援体制整備事業		
			(中事業名) 生活支援体制整備事業		決算書ページ		101 ~ 一般		
I 基本情報	総合計画	基本目標	1 「やってみたい」でつながるまち	4	誰もがいきいきと安心して暮らせるまち				
		政策	1 地域共生を支える人づくり	1	住み慣れた場所で安心して暮らすことができる地域づくり				
		施策	(1) 地域の担い手づくりの推進	(1)	くらしを支える生活基盤の充実				
	その他	開始年度	平成27年度						
		終了予定年度	年度	<input checked="" type="checkbox"/> 未定	市民・民間事業者との連携協働の可能性		両者と協働可		
		根拠法令等	介護保険法						
		関連計画	第9期高齢者福祉・介護保険事業経計画						
	事業の概要・目的	①事業概要 (どんな取組を行うのか)		アウトプット（詳細はⅡへ）		アウトカム（詳細はⅢへ）			
				②活動指標 (取組の進捗をはかるもの。 また、それがどうなるのか)		③中間成果 (①【対象】がどのような 状態に変わるのか)		④最終成果 (大事業の将来像)	
		【対象】 <input checked="" type="checkbox"/> 市民 <input type="checkbox"/> 事業者 <input type="checkbox"/> 職員 <input type="checkbox"/> その他 対象の数： 10756 【事業内容】 介護や生活支援が必要になっ ても、住み慣れた地域で安心 して暮らせるよう、介護予防 の取組や簡単な支援を地域で 提供できる体制づくりを行いま す。		【アクションプラン指標】 (2024年度まで) 生活支援サポーター養成人数 【累計】 (2025年度から) 高齢者が自立した生活を送る ために、生活支援コーディネ ーターが支援した人数 【その他の指標】		事業対象者、要支援1・2の方を 対象とした短期集中予防サー ビスを利用し、フレイル状態 になる前の状態に戻った方が 状態を維持し続けることがで きるよう支援をする。 (成果指標名) 生活支援コーディネーターが 支援した人の中で、社会資源 に繋がった割合		大 事 業 共 通 住み慣れた地域で自分らしく 長く暮らしていくことできる 高齢者が増加する。 要介護認定者や介護給付費を 抑制することができる。	

Ⅱ 活動状況（アウトプットの詳細）	活動指標	活動指標名		単位	基準値（2023年） 目標値（2028年） ※AP指標のみ		区分	R6(2024) 年度	R7(2025) 年度	R8(2026) 年度	R9(2027) 年度	R10(2028) 年度	
		1	【アクションプラン指標】 （2024年度まで） 生活支援サポーター養成人数【累計】	人	基準値	104（2022）	目標値	110	—	—	—	—	
					目標値	130	実績	105					
		2	【アクションプラン指標】 （2025年度から） 高齢者が自立した生活を送るために、生活支援 コーディネーターが支援した人数【単年】	人	基準値	—	目標値	—	40	40	40	40	
					目標値	40	実績	—					
		3			基準値		目標値						
					目標値		実績						
		4			基準値		目標値						
					目標値		実績						
	エピソード	事業開始 の背景	平成27年度以降、生活支援体制整備事業として生活支援コーディネーターを配置し、地域に不足するサービス・支援の創出及びサービス・支援の担い手の養成などの資源開発を行っている。令和6年度生活支援体制整備事業の見直しにより、高齢者が自立した生活に必要な支援等を実施していく。										
		各年度の取組、改善したこと。目標が達成できなかった場合はその理由											
		R 6	総合事業の見直しをし、事業対象者、要支援1・2の方を対象とした短期集中予防サービスのモデル事業を開始。併せて、生活支援体制も見直しを行い、生活支援コーディネーターの対象者を全世代から高齢者へ変更した。 事業見直しに伴い、生活支援サポーターの役割についても検討が必要となったため、今年度は養成講座を開催しなかった。				R 7						
		R 8					R 9						

Ⅲ 事業の成果・課題分析（アウトカムの詳細）	成果指標（CHECK）	成果指標名（中間成果をはかるもの）	単位	成果指標の推移と目標									
		生活支援コーディネーターが支援した人中 で、社会資源に繋がった割合	%	年度		年度		【現状】 R6 年度		R8 年度		R10 年度	
				—		—		0		30		50	
		成果達成状況						指標目標値の根拠					
		<div>C</div> A. 想定より良い B. 想定どおり C. どちらともいえない D. 想定を下回っている						短期集中予防サービスの利用者が、自分らしい生活を維持するため、サービス終了後に何らかの社会資源につながっている状態を目指す。 短期集中予防サービス利用者：80人/年 利用者がSCが支援し、社会資源につないだ人の割合：10%/年					
		評価の理由、分析											
		短期集中予防サービスが始まったばかりのため、評価ができない											
	加える変化（ACTION）	今後の方向性		今後の方向性の理由									
		<div>A</div> A. 拡充 B. 現状維持 C. 縮小 D. 廃止		フレイル状態の方が短期集中予防サービスを利用し、元の状態に戻り、その状態を維持し続けることができるよう支援していくことで、住み慣れた地域で自分らしく暮らしていける高齢者を増やしていく。									
		改善ポイント (成果指標を踏まえ、総合計画基本目標達成のため、必要性、有効性、効率性、公平性、歳入確保の観点等から見直しの余地のある取組を記入)											
		見直しの余地のある取組名		見直しの方向性	理由及び具体的な見直しの内容							見直し可能年度	
		1	生活支援コーディネーターの支援	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止	短期集中予防サービスの利用者が、住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けるために、生活支援コーディネーターが社会資源につながるよう利用者を支援する。							R7	
		2		<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止									
		3		<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止									

IV 費用	令和8年度予算の方向性（PLAN）	R8年度の費用（R7年度比）		3年間の推移	(単位：千円)		R5(2023)年度		R6(2024)年度		R7(2025)年度
		B	A. 拡充 B. 現状維持		事業費	予算	決算	予算	決算	予算	
			C. 縮小 D. 廃止			7,637	7,637	7,657	7,631	16,000	
		理由			特定財源	合計額	6,167	6,167	6,181	6,162	12,920
		事業見直しをし、令和7年度から新たな仕組みを構築していくため。				(内 国費)	2,940	2,940	2,947	2,938	6,160
						(内 県費)	1,470	1,470	1,473	1,469	3,080
						(内 諸収入)	0	0	0	0	0
						(内 その他)	1,757	1,757	1,761	1,755	3,680
		積算額			一般財源		1,470	1,470	1,476	1,469	3,080
		地域支援事業交付金 第1層（市町村圏域） 8,000千円 第2層（包括圏域） 4,000千円×2圏域			R7年度予算の内訳 ＜細々節名、 予算額、（R6年度予算額）＞						
生活支援体制整備委託 16,000千円（7,657千円）											